

# トラック輸送状況の実態調査（岩手県版） 結果概要について

昨年、全国一斉に実施した実態調査の結果を以下の通りお知らせいたします。

岩手県の結果は、全国状況とは異なる実態が散見されており、この実態調査をもとに、今年はパイロット事業を行い、実現可能な対応等を検討いたします。

今後は、トラック運送業界の現状、課題等について広く県民の皆さまにお伝えしながら効果的な協議会運営を通じて「取引環境の改善」「長時間労働の抑制」「適正運賃の収受」の実現に向けて努めて参りますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

【調査概要】	全国版数値
・有効回答数 運送事業者 20社 ドライバー 93名	1,252社
・調査期間 平成27年9月14日（月）～20日（日）7日間	5,029社/62名
<b>(1) 回答ドライバーの概要</b>	
① 車種は大型が63.9%	57.7%
② 年齢は30歳～59歳が中心となっている。	30歳～59歳
③ 1運行の距離は短・中距離運行（走行距離500km以下）が72.8%を占め、平均は365km	85.1% 297km
<b>(2) 回答事業者の概要</b>	
① 保有台数21台～50台が最多55.0%、次いで11～20台で20.0%。平均では48.9台	57.8台
<b>(3) ドライバーの拘束時間の概要</b>	
① 「手待ち時間がある運行」は全体の39.4%	46.0%
② 手待ち時間の平均は1時間38分で、その分「手待ち時間がない運行」と比べて拘束時間が長くなっている。（1時間11分）	1時間45分 1時間53分
③ 短・中距離運行の平均拘束時間が10時間台であるのに対し長距離運行の平均拘束時間は15時間を超えている。	11時間台 16時間
④ 輸送品部類では「軽工業品」で長くなっている。	農水産品 特殊品
<b>(4) ドライバーの拘束時間等の分析</b>	
① 1運行の拘束時間が13時間を超える運行が全体の33.5% 16時間を超える運行が全体の13.1%である。	36.6% 13.0%
② 16時間超の割合は、「大型」「長距離」「紙工業品」で高くなっている。	農水産品
③ 休息期間8時間未満の運行が全体で16.3%であり、「大型」の割合が高くなっている。	15.8%
④ 調査7日間のうち「休日がなかった」ドライバーが、全体の4.3%あり、「大型」の割合が高くなっている。	9.8%
⑤ 連続運転時間4時間超の運行が全体で9.7%あり、「大型」「長距離」「軽工業品」の割合が高くなっている。	10.7%